

「ああ、美味しい。身体が温まるわ」湯気が立ち昇るスープを、フウフウしてから一口飲んで、マジヨリアルは微笑んだ。その言葉にマグワートも微笑みながら「そうじゃろう。人はほづこりと身体が温まると幸せな気持ちになるものじゃ。特に温かいスープは胃とその裏側にある太陽神経叢をも温めることになり、ここは第三チャクラで、感情とも繋がっている。よってほづこり温めてやることで幸せボタンが押されるんじや」と言った。「タイヨウシンケイソウ？」小首を傾げるマジヨリアルに「聞き慣れない言葉かのう？では、まず自律神経というものは分かるかな？」マグワートが聞くと「ん？」「マジヨリアルとウィザットは喰った。」

マグワートは微笑みを崩さないまま言った。「お二人さんの心臓は今動いているかな？」「当たり前前じやないか、爺さん」と答えるウィザットに更なる質問。「それは誰が動かしているんじや？動かそうと思つて動かしているのかな？」「そりゃ勝手に動いているんだよ、心臓さんが」口を尖らすウィザットに「それが自律神経の働きじやよ。ま、厳密に言えば心臓には心筋による自動能というものがあるが、基本的には自律神経が動かしているんじや」とマグワートはスープの中の人参を掬いながら言った。

「へえ、で、その自律神経様はどこにいらつしやるんだい？」ウィザットがおどけた表情で聞く

と「視床下部と太陽神経叢じやよ」マグワートはそう答えると同時に人参を頬張った。「マジヨリアル？」そのカブはこのスープにも入っているのかい？「更にふざけるウィザットを軽く首を振って受け流し、マグワートは言った。「視床下部というのは脳内の部分で、自律神経の司令塔みたいなもんじやな。そして太陽神経叢というのが胃の裏側に在る実際の神経の束で、それは感情とも密接に関連しており、ストレスにより自律神経の二つの要素である交感



神経と副交感神経のバランスが崩れることで、自律神経失調症になることもあるんじや。主に活動時や興奮時には交感神経が働き、休眠時、リラクセス時には副交感神経が働いているんじやよ。但し、交感神経や副交感神経という言い方は神経の機能を生理学的に分類した言い方であつて、解剖学的にこの二つを取り出すことは出来ないそうじやがな」

「ん？何だか難しくて解らないわ」と言うマジヨリアルに同

調してウィザットも「爺さんの話を聞いてると消化不良を起こそうだよ」と顔をしかめた。「ははは。それは申し訳ない。ところでスープの味はどうじやな？」問いかけるマグワートにウィザットが答えた。「とても美味しいよ。これは確か地球に繋がる事が出来るスープなんだから？」

「そうじや。根菜類は地球のエナジーを沢山含んでおるからルートチャクラを活性化してくれるんじやよ」そう言うマジヨリアルに、今度はマジヨリアルが「さうきのお話の第三チャクラとは違うんですか？」と聞いた。

「ああ、ルートチャクラは尾椎骨の辺りにある第一チャクラじやよ。人間には七つのチャクラがあると考えられておるんじや。お臍の下が第二、お臍と鳩尾の間が第三、胸の中心が第四、喉仏の下が第五、眉間が第六、そして頭頂部が第七チャクラ」マグワートが答えると、「そのチャクラについては何なんだい？」すかさずウィザットが言葉を挟んだ。マグワートは顎髭を指先で捻りながら「うん、説明が難しいが、目には見えない生命エナジーの光の渦とでも言つておこうかのう」と答えた。

「へえ。光の渦が人間にはあるのかい？それは興味深いなあ。チャクラについても詳しく聞かせておくれよ、爺さん」ウィザットはそう言うとき皿の中のスープを一気に平らげた。

つづく

## チャネリング相談

**Q** 私の彼氏は、特に暗いとか性格が悪いとかいう問題は無いと思うのですが、友達が居ません。私には大勢の友達が居ます。今後もしも結婚することになった場合、結婚式に私の友人ばかり来て彼のほうには誰も来ないと思います。彼は特に自分に友達が居ないことは気にしておらず、平気みたいですが、友達が居ない人って本当は何か問題があるのではないかと不安です。(San Gabriel 在住 Cさん)

**A** 友達が多いことが一概に良いこととも、友達が居ないことが一概に悪いこととも言えません。友達を沢山持つことが好きなタイプと、それが苦手なタイプ、または友達が居ることで安定するタイプと自分だけでも安定しているタイプ、社交的な人間と内向的な人間、その人それぞれの特性があります。

特に精神疾患等のせいで友達が居ないということであれば、ドクターにアドバイスを仰ぐ必要があるかも知れませんが、友達の居る居ないということはお二人のリレーションには本来関係のないことではないでしょうか。

お二人の間に良いエナジー=インフィニティー(∞)を描くエナジー交換が為されているのであれば、何も問題は無いでしょう。友達の居る居ないに関わらず、お互いに惹かれてお付き合いしている訳なので、軸はそこにあるのです。常にその軸を忘れないで下さい。

結婚式は周囲に自分達の結婚を報告し祝福を受けるという、はじめと決意表明、そして親を始めとした周囲への感謝を示す為の儀式ではありますが、人に見せることが目的ではありませんので、招待客の多い少ないはこの世的な体裁ではありますが、魂的にはそこに重点はありません。

お二人がお二人で居て幸せであるなら、それで良いのではないのでしょうか。